

# 養鶏ブロイラーでの利用方法

act-node

:::hero{placeholder="ブロイラー鶏舎の全景写真と、アクト・アップの養鶏ブロイラー向けダッシュボード画面（日齢・体重

## 養鶏ブロイラーでの利用方法

アクト・アップを **養鶏ブロイラー** の生産管理に活用する流れを章立てで解説します。

ここに掲載するのは業種別の **利用例** です。アプリ自体の操作方法は A. アプリマニュアル、センサー連携の設定は C. コネクト機能マニュアル を参照してください。

...

### 想定する運用

養鶏ブロイラーでは、次のようなサイクルで記録と集計を回します。

- **入雛:** ロット番号、日齢開始、導入羽数を記録
- **日次:** 飼料給与量・飲水量・死亡数を記録
- **環境:** TempHawk で鶏舎内の温湿度を自動記録
- **体重推定:** AIカメラ（体重推定）で週次の推定体重を自動取得
- **出荷:** 出荷日・出荷羽数・平均体重を記録、レポート出力

### 初期設定の流れ

#### 1. 記録テンプレートを選ぶ

記録テンプレート「養鶏ブロイラー」を選ぶと、必要な記録項目（飼料・飲水・死亡数・観察メモ等）が一括で設定されます。「記録テンプレート」で記録項目を登録するを参照してください。

#### 2. 場所を登録する

鶏舎単位で「場所」を登録し、地図上で色分け管理できるようにします。詳しくは場所を登録するを参照してください。

#### 3. センサー・AIカメラを接続する

TempHawk を鶏舎に設置して温湿度の自動記録を開始、AIカメラ（体重推定）で定期的な体重推定を行います。詳細はセンサーコネクト全体手順と TempHawk 温湿度センサを参照。

### 日々の運用

（ここに日次の記録入力・確認フローを後続 PR で追記）

### 週次・月次の集計

（ここに飼料要求率・増体重・育成率などの KPI 表示を後続 PR で追記）

## 出荷とレポート

(ここに出荷記録の入力と、ロット別のレポート出力を後続 PR で追記)

:::troubleshoot{title="ブロイラー運用でつまずきやすい点"}

- **症状:** TempHawk のデータが届かない
  - **原因:** 鶏舎内の電波状況、または送信設定未完了
  - **対処:** TempHawk 温湿度センサ の送信設定とアンテナ位置を確認
- **症状:** 体重推定値がばらつく
  - **原因:** AIカメラの設置角度、照明条件、鶏の集まり方
  - **対処:** カメラを鶏舎中央の上部に設置、撮影時は散開している時間帯を選ぶ

...